

定例公安委員会の開催状況について

令和5年9月14日に、第25回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 10月の行事予定

10月の行事予定について報告があった。

2 夏期における山岳遭難、水難事故の発生状況等について

夏期（6月から8月までの3か月間）における山岳遭難・水難事故の発生状況について報告があった。

委員のコメント

- 登山者に向け、登山計画書の提出や、ビーコン等の発信機を活用することで遭難防止対策につながるなどについて、広報啓発を実施してほしい。
- 報道機関の協力を得ながら、実際の山岳遭難や水難事故の事例を紹介することで、安全意識の向上につながることから、その重要性について引き続き広報してほしい。また、子供たちの危険を回避するため、学校や団体等のリスクマネジメントの在り方が重要であるという視点で注意喚起していく必要がある。
- 山形県の特徴として海より山の事故が多いことが分かった。重大な事故に至らしめないために、広報による注意喚起が重要と思うので今後も継続してほしい。

3 秋の交通安全県民運動の実施について

本年9月21日から同月30日まで実施される秋の交通安全県民運動について報告があった。

委員のコメント

- 運動期間中に、自転車のヘルメットの着用及び自転車通行のルールについて改めて県民に周知してほしい。
- 運動の重点で示されたとおり、最近の交通事故や違反の特徴などを踏まえて活動に取り組んでほしい。飲酒運転が増加傾向にあることを運動実施前に広報し、期間中には飲酒運転が減少するよう対策を講じてほしい。
- 飲酒運転は、お酒を飲ませた者、同乗していた者も違反になることを強く広報してほしい。また、夜光反射材のシールの色や素材など、工夫の余地があると思うので検討してほしい。